

## 令和6年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業

平成29年4月より那覇市から下記委託内容を受け、那覇市における在宅医療・介護連携を図るために事業を推進している。

- ① 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築に向け、現状の分析、課題の抽出、施策の立案を行う。
- ② 地域の医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他必要な援助を行う。
- ③ 立案時に評価時期や指標を定め、実施した対応策について、それに基づき評価を行う。その評価結果を踏まえ、目標設定や課題抽出、対応策の実施内容等について、地域包括ケアシステムの実現に向け、改善のための検討を行う。
- ④ その他必要と認められる事項について

### (1) 医療・介護おたすけマップの作成

県民や医療・介護関係者がいつでもどこでもわかりやすい医療・介護情報にアクセスできることを目的に、北部地区医師会、中部地区医師会、南部地区医師会と協働し、沖縄県統一在宅医療・介護連携資源マップ（医療・介護おたすけマップ）を作成し、那覇市内771事業所をちゅいしーじー那覇ホームページに掲載した。

### (2) 那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会及び作業部会

那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会において、目指すべき姿の共有、下記取り組みの進捗・報告を行なった。

#### ① 那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会の開催。(3回)

#### ② 作業部会A『入退院及び救急医療時の情報共有支援の推進』

「ていーあんだールール 入退院支援連携コンセンサスブック」運用に関する職種ごとの意見交換会を実施。(栄養士・6回)

#### ③ 作業部会B『介護関連施設と医療との連携』(4回)

救急時の対応策検討のための意見交換会の振り返り、今後の研修内容について協議。

#### 【令和6年9月19日開催】

第1回救急時の対応策検討のための意見交換会 in 真和志・小禄

講演①：『今さら聞けない！誤嚥性肺炎とは ～明日から活かせる食支援の視点～』

講師：合同会社 C o m e r 代表／摂食・嚥下障害看護認定看護師 大城 清貴 氏

講演②：『軽症の搬送を防ぐために、在宅医療にできることがあるかもしれない』

講師：きなクリニック 院長／那覇市医師会 副会長 喜納 美津男 氏

司会：NPO法人ゆくり 代表理事 佐久川 伊弘 氏

場所：沖縄県医師会・3階ホール

参加者：38名

【令和6年12月11日開催】

第2回救急時の対応策検討のための意見交換会 in 本庁・首里

講演①：『今さら聞けない！誤嚥性肺炎とは ～明日から活かせる食支援の視点～』

講師：合同会社 Comer 代表／摂食・嚥下障害看護認定看護師 大城 清貴 氏

講演②：『軽症の搬送を防ぐために、在宅医療にできることがあるかもしれない』

講師：きなクリニック 院長／那覇市医師会 副会長 喜納 美津男 氏

司会：NPO法人ゆくり 代表理事 佐久川 伊弘 氏

場所：沖縄県医師会・3階ホール

参加者：42名

④ 作業部会C『在宅医療・介護の充実／ACP普及啓発（住民・支援者向け）』（6回）

地域包括ちゅいしーじー講習会の開催（3回）および地域包括ちゅいしーじー講習会開催前に構成内容について協議、開催後には振り返りを行なった。

【令和6年6月12日開催】

地域包括ちゅいしーじー講習会（地域包括支援センター本庁地区）

テーマ：『もしもの時 あなたは何を選択し 何を伝えますか』

～受けたい医療や介護 そして あなたの思い～

司会：佐久川 伊弘 氏

講師：玉井 修 氏、宮城 愛子 氏、吉田 陽子 氏、宮本 英欧 氏、植田 一輝 氏、  
知名 雄介 氏、桃原 千佳 氏、高澤 祐樹 氏

場所：ジュンク堂書店 那覇店

参加者：23名

【令和6年10月2日開催】

地域包括ちゅいしーじー講習会（地域包括支援センター石嶺圏域・支援者向け）

テーマ：『自分らしく 生きるために ～ACPって何？～』

司会：佐久川 伊弘 氏

講師：玉井 修 氏

場所：オリブ山病院・本館5階 礼拝堂

参加者：53名

【令和7年2月5日開催】

地域包括ちゅいしーじー講習会（地域包括支援センター国場・古波蔵・識名合同）

テーマ：『皆さんは人生の最後を、どこでどのように過ごしたいですか』

司会：玉井 修 氏

講師：玉井 修 氏、宮城 愛子 氏、吉田 陽子 氏、植田 一輝 氏、知名 雄介 氏、  
仲程 大輔 氏、大城 達也 氏、吉田 睦子 氏、大見謝 尚子 氏

場所：那覇市人材育成支援センターまーいまーいNaha

参加者：39名

⑤ 作業部会D『認知症施策との連携』（4回）

認知症の支援に関する意見交換会および認知症の支援に関する意見交換会開催後の振り返り、今後の展開について協議した。

【令和6年11月12日開催】

第6回認知症の支援に関する意見交換会

テーマ：『認知症患者 地域包括支援センターとの連携』

講師：ゆずりは訪問診療所 院長 屋宜 亮兵 氏

司会：那覇市医師会 在宅医療担当理事 上間 一 氏

場所：那覇市医師会・4階ホール

参加者：35名

【令和7年3月11日開催】

第7回認知症の支援に関する意見交換会

テーマ①：『那覇市の高齢者に関する主な現状について』

テーマ②：『那覇市認知症初期集中支援推進事業 取り組み報告』

発表者：那覇市ちゃーがんじゅう課 包括支援グループ 米須 ゆり恵 氏

テーマ③：『認知症地域支援推進員による事例・活動報告』

発表者：那覇市地域包括支援センター城岳 仲間 祥子 氏

那覇市地域包括支援センター安里 下里 わかな 氏

那覇市地域包括支援センター松島 仲田 貴 氏

那覇市地域包括支援センター繁多川 比嘉美矢子 氏

司会：那覇市医師会 在宅医療担当理事 上間 一 氏

場所：那覇市医師会・4階ホール

参加者：32名

⑥ 作業部会E『身寄りがない方への意思決定支援』（0回）

作業部会は開催せず、事務局にて発表者、講師と研修内容について協議した。

【令和7年3月18日開催】

第7回身寄りがない方への意思決定支援研修会

講演：『高齢者施設における共同意思決定のあり方を考える』

～身寄りがない方をお受けして見えてきたこと～

事例提供者：介護老人保健施設 池田苑 管理者・看護師 高江洲 恵 氏

介護老人保健施設 池田苑 主任介護支援専門員 上原 久 氏

講師：琉球大学病院 地域・国際医療部 臨床倫理士 金城 隆展 氏

司会：那覇市医師会 在宅医療・地域包括ケア担当理事 嘉数 朗 氏

場所：沖縄県医師会・3階ホール

参加者：39名

（3）関係機関への医療・介護連携に関するヒアリング（91回）

那覇市地域包括支援センター、介護支援専門員協会、病院、消防局、介護老人保健施設、その他必要に応じてヒアリングを実施した。

（4）地域住民へのACP普及啓発（16回）

那覇市地域包括支援センター、自治会等で求めに応じコーディネーターによる講話「療養場所と医療ケアについて」、「病院機能・介護施設の種別について」、「命しるべ」、「もしバナカードゲーム」等を実施した。新たなゲーム（仮称：ちゅいしーじーオリジナルすごろくゲーム）を考案し、試験的に実施した。

### (5) 医療・介護関係者向け研修会

多職種連携研修会「在宅医療・介護スクラム塾 福法倫が斬る!?'脱'困難事例 ～どうしようを解きほぐすヒント～」等、医療・介護関係者を対象とした下記研修会を実施し、多職種間でのディスカッションを通して連携強化を図った。

#### 【多職種連携研修会：在宅医療・介護スクラム塾】

司会進行・座長：嘉数 朗 氏（那覇市医師会 在宅医療・地域包括ケア担当理事）  
 講師：沖縄大学 人文学部 福祉文化学科 教授／社会福祉士 玉木 千賀子 氏  
 ゆいま～る法律事務所 弁護士 寺田 明弘 氏  
 琉球大学病院 地域・国際医療部 臨床倫理士 金城 隆展 氏

回	開催日	テーマ	参加数
1	令和6年 6月4日	テーマ：『支援者の説明や助言が届きにくい??』 ～共に暮らしたいと願う一途な思い～	60名
2	令和6年 11月5日	テーマ：『治療や支援を拒むのはなぜ??』 ～糖尿病治療の再開に向けて～	40名
3	令和7年 3月4日	テーマ：『家屋内外にため込んだゴミや物がもつ意味とは』 ～生活環境を整えるには・・・～	53名

#### 【その他研修会】

回	開催日	研修名・テーマ・発表者	参加数
1	令和6年 7月30日	【介護職から医療職向けの研修会】 第1回那覇市地域包括支援センターと急性期病院 退院支援部門との連携研修会 テーマ：『“住み慣れたお家”で過ごすために いま私たちにできること』 司 会：那覇市医師会 在宅医療担当理事 上間 一 氏	61名
2	令和6年 8月15日	【医療職から介護職向けの研修会】 那覇市地域包括支援センター&ケアマネジャー向け診療報酬 改定研修会（急性期病院、回復期・地域包括ケア病棟） テーマ：『病院からの退院が早くなっているのはなぜ?!』 ～在宅で準備できること～ 講 師：那覇市立病院／急性期 医療ソーシャルワーカー 仲宗根 恵美 氏 北中城若松病院／回復期・地域包括ケア 医療ソーシャルワーカー 大嶺 洋 氏 司 会：那覇市医師会 在宅医療・地域包括ケア担当理事 嘉数 朗 氏	74名
3	令和7年 2月6日	【その他の研修会】 ロジックモデル研修会 テーマ①：『ロジックモデルの活用の基礎』 テーマ②：『ロジックモデルの指標を読んで地域診断する』 テーマ③：『ロジックモデル案を作成する』 講 師：国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所 医療福祉ジャーナリズム分野 教授 埴岡 健一 氏 司 会：那覇市医師会 副会長 喜納 美津男 氏	28名

4	令和7年 3月25日	<p>【介護職から医療職向けの研修会】  第2回那覇市地域包括支援センターと急性期病院  退院支援部門との連携研修会  講演①：『身寄りがない方の意思決定支援のあり方』  講 師：ゆいま〜る法律事務所 弁護士 寺田 明弘 氏  講演②：『入退院における身寄りがない方の意思決定支援』  講 師：沖縄県社会福祉士会  成年後見権利擁護委員会 委員長 宮田 英治 氏  講演③：『成年後見制度（市長申立）について』  講 師：那覇市ちやーがんじゅう課  包括支援グループ 新垣 優香 氏  司 会：那覇市医師会 在宅医療担当理事 上間 一 氏</p>	39名
---	---------------	---	-----

**(6) 令和6年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業『市民フォーラム』**

今年度も昨年に引き続き、沖縄県で視聴率が高い人気番組であるエフエム沖縄とタイアップし、ハッピーアイランド特別番組『人生会議スペシャル』を開催した。今年度で5回目のラジオ放送ということもあり、県民の意識調査として、人生の最終段階における医療・ケアに関するアンケートを実施した。アンケート結果より、4割の方が初めて視聴したとの回答があったため、また新たに幅広い年齢層と多くの視聴者にACP（アドバンス・ケア・プランニング）の重要性について普及啓発できたと思われる。

日 時：令和6年11月27日（水） 11時30分～13時55分

場 所：エフエム沖縄スタジオ

テーマ：『託された言葉、託したい言葉』

出 演：那覇市医師会 副会長 玉井 修、那覇市医師会 副会長 喜納 美津男

司 会：パーソナリティ 多喜 ひろみ、伊藝 梓

**(7) 那覇市在宅療養支援診療所連絡会**

在宅療養の核となる在宅療養支援診療所による那覇市在宅療養支援診療所連絡会を約2ヶ月に1回の割合で在宅医療に関する問題点について協議した。（7回）

**(8) 那覇市医師会 医療・介護連携運営委員会**

事業の進捗状況や今後の方向性について協議を行った。（4回）